

府中市における介護予防効果について（平成 25 年度概要版）

【介護予防効果の調査について】

府中市では、平成 18 年 4 月に市立介護予防推進センターを開設し、同センターを拠点として地域包括支援センター（市内 11 か所）とともに、高齢者の介護予防事業を進めてきた。この間、多くの市民が介護予防教室に参加されている。今回の調査では、介護予防教室が市民の介護予防促進という面で、高齢者自身の日常生活の中でどれだけ効果があったかを分析・評価した。

【調査の対象】

府中市では介護予防としての様々な教室を実施している。調査対象としてその内容の整合性を図るため、府中市全域の運動系の教室を対象とした。

介護予防推進センター・・・筋力向上教室、転倒予防教室参加者及び教室不参加者
地域包括支援センター・・・転倒予防教室参加者及び教室不参加者

【調査の内容】

上記対象者の平成 22 年におけるデータとして、介護予防健診を受けた市民（65 歳以上の高齢者）を対象とし、①介護予防健診におけるリスクの有無、②介護予防教室参加の有無、③介護認定（25 年 10 月 1 日現在）を調査し、※1 リスクの有無の違い、及び教室参加・不参加の違いによって、介護認定にどのような影響が生じるかを調査した。

※1 リスクの有無について

リスク有・・・介護予防健診の結果が「老化の兆し有り（リスク有）」と判定された高齢者

リスク無・・・介護予防健診の結果が「老化の兆し無し（リスク無）」と判定された高齢者

【調査結果】※2

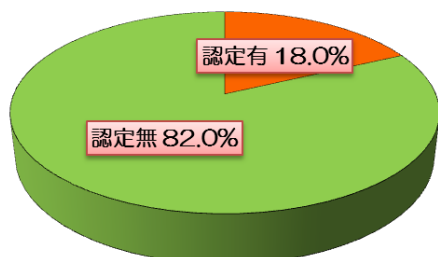
リスク有・運動教室参加者・・・・・・・・	560 人（認定無 459 人	認定等 101 人）
リスク有・運動教室不参加者・・・・・・・・	3,135 人（認定無 1,717 人	認定等 1,418 人）
リスク無・運動教室参加者・・・・・・・・	307 人（認定無 288 人	認定等 19 人）
リスク無・運動教室不参加者・・・・・・・・	7,258 人（認定無 6,484 人	認定等 774 人）

※2 リスク有教室参加者・不参加者は運動系リスク対象者のみとする。

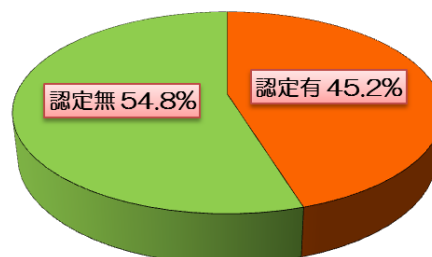
【調査結果の比較】

(1) リスク有における教室参加者と不参加者の介護認定割合比較

リスク有・教室参加者の介護認定割合

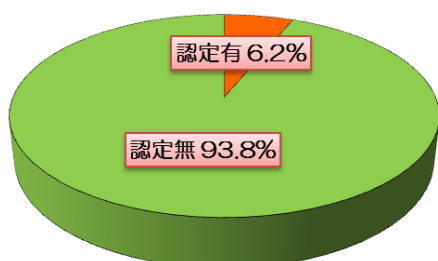


リスク有・教室不参加者の介護認定割合

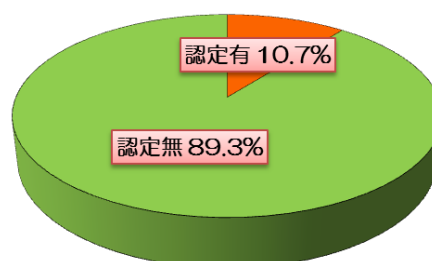


(2) リスク無における教室参加者と不参加者の介護認定割合比較

リスク無・教室参加者の介護認定割合



リスク無・教室不参加者の介護認定割合



【結果及び考察】

調査結果からみると、第一に、介護予防健診の結果、リスク有とリスク無とでは、リスク有の方が介護認定を受ける比率が高い。第二に、介護予防健診にてリスク有と判定されても、介護予防教室に参加することによって介護認定率が抑えられる。さらにリスク有・リスク無に関係なく、教室参加者は教室不参加者に比べ、介護認定者が少ないことが分かる。これは「介護予防教室を通じた介護予防活動が介護認定率を抑える手段として有効なものである」ということがいえる。

以上